

戦後日本を代表する娯楽小説家 【山田風太郎 生誕100周年】 時代小説傑作選を2冊連続で発売！

山田風太郎の生誕100年に当たる今年、彼の時代小説傑作選となる『山田風太郎時代小説コレクション 天の巻 元禄おさめの方』を10月6日に、『山田風太郎時代小説コレクション 地の巻 南無殺生三万人』を11月5日に宝島社文庫レーベルより発売します。



『山田風太郎時代小説コレクション 天の巻 元禄おさめの方』
(宝島社文庫) 発売日:2022年10月6日 価格:1210円(税込)



『山田風太郎時代小説コレクション 地の巻 南無殺生三万人』
(宝島社文庫) 発売日:2022年11月5日 価格:1210円(税込)

「妖風いまだ止まず——
得がたい珠玉に、またも巡りあった
山田風太郎に底はないのか」

「魔風なおも逆巻く——
なんと妖美に歴史を彩るのだろう
山田風太郎、奇想奔放たり」

米澤穂信(小説家)

※制作中につき書影は変わる場合があります

【山田風太郎作品の特徴】

山田風太郎の作品は、現代もののミステリー、忍法帖、明治もの、室町もの、エッセイ・ノンフィクションなどに大別されますが、代表作のひとつ『妖説太閤記』のように、忍法帖や明治ものに属さない時代小説も少なくありません。

没後20年に当たる2021年から生誕100年に当たる2022年にかけて、各社から風太郎作品が次々と復刊されていますが、ミステリーと忍法帖がほとんどであり、時代ものの短篇は20年以上も前に刊行されたものが多く、現在では手に入らないものばかりです。

宝島社文庫「山田風太郎時代小説コレクション」の見どころ！

宝島社文庫「山田風太郎時代小説コレクション」は、入手困難な傑作短篇を全2巻でお届け。収録作品はいずれも、**山田風太郎の文庫本としては、19～24年ぶりに刊行されます。**

■ 山田風太郎(やまだ・ふうたろう)1922 - 2001

兵庫県養父郡に生まれる。家業の医院を継ぐべく東京医科大学在学中だった1947(昭和22)年、探偵小説誌『宝石』の懸賞募集に入選しデビュー。高木彬光、島田一男、香山滋、大坪砂男とともに、江戸川乱歩が有力新人を評した「戦後派五人男」に数えられる。49年、「眼中の悪魔」「虚像淫楽」で第2回探偵作家クラブ賞(現在の日本推理作家協会賞)を受賞。異色の探偵作家として活躍するが、58年にスタートした「忍法帖」シリーズがベストセラーとなる。73年から「明治もの」シリーズを手がけ、識者からも高く評価される。戦時中の日記『戦中派不戦日記』やノンフィクション『人間臨終図巻』も話題となり、2001年には第4回日本ミステリー文学大賞を受賞している。没後も旧作の復刊、未刊行作品の発掘が相次ぎ、現在も80作品以上が新刊で入手可能。作品のマンガ化(『バジリスク』など)や映画化(『魔界転生』など)も数多い。